

2015年3月16日

公益財団法人 小平記念日立教育振興財団

公益財団法人 倉田記念日立科学技術財団

公益財団法人 日立環境財団

公益財団法人 日立国際奨学財団

公益財団法人 日立みらい財団

日立グループが支援する5財団が合併し「日立財団」を発足

日立グループが支援する、公益財団法人小平記念日立教育振興財団、公益財団法人倉田記念日立科学技術財団、公益財団法人日立環境財団、公益財団法人日立国際奨学財団、公益財団法人日立みらい財団の5財団は、このたび、2015年4月1日付にて合併し、公益財団法人日立財団(以下、日立財団)として新たに発足することを決定しました。日立財団の設立は、これまで各財団で取り組んできた事業を、より社会のニーズに応じ、有機的に展開していくことが目的です。これにより財団活動を、社会課題の解決にさらに貢献する公益事業へと発展させていきます。

現在活動する5財団は、1967年に、公益財団法人倉田記念日立科学技術財団が株式会社日立製作所の第2代社長である倉田主悦(くらた ちから)により設立されて以降、1980年代にかけて、歴代経営幹部の志により設立された5つの財団が母体です。各財団では、設立以来48年にわたり、社会の発展の基礎とも言える家庭教育の振興、健全な青少年の育成、科学技術の振興、環境保全に関する啓発や技術の普及、アジア諸国の人材育成への支援など、それぞれの財団設立時の理念を大切にしながら事業に取り組み、社会に貢献してきました。

新たに発足する日立財団は、これまでの各財団の理念を継承しつつ、より社会のニーズに応じた事業を展開していきます。また、今後も社会イノベーション事業を通じて社会に貢献するという日立グループのCSR・社会貢献の方針の下、5財団のみならず日立グループがこれまで蓄積してきた経験・ノウハウを生かしながら、①人づくり、②学術・科学技術の振興および環境保全の推進、③地域コミュニティの支援、を重点分野とし活動します。これまでの事業をベースに、今後活動をさらに発展させ、広く社会に貢献できるような事業内容を検討していく計画です。

日立財団は、時代に応じた活動を推進することで、持続可能な社会の構築や国民生活の向上、さらには国際社会へのさらなる貢献をめざしていきます。

■5 財団の概要

	公益財団法人 小平記念日立 教育振興財団	公益財団法人 倉田記念日立 科学技術財団	公益財団法人 日立環境財団	公益財団法人 日立国際奨学財団	公益財団法人 日立みらい財団
設立	1971年	1967年	1972年	1984年	1967年
事業 内容	家庭教育振興お よび地域文化振 興事業	科学技術の研究 に対する助成お よび振興事業	環境問題に関す る調査研究およ び環境保全活動 の普及・促進事業	アジア諸国への 奨学援助、教育、 学術・文化の交流 促進	青少年の非行・犯 罪の予防、福祉 向上、更生保護 活動

■公益財団法人 日立財団の概要

設 立	2015年4月1日
代表者	理事長 田中幸二（株式会社日立製作所 代表執行役 執行役副社長）
目 的	人づくり、学術および科学技術の振興、環境保全の推進、地域コミュニティの発展に寄与し、も って持続可能な社会の構築、国民生活の向上、さらには国際社会に貢献する。

■日立グループのCSRへの取り組み

<http://www.hitachi.co.jp/csr/index.html>

■お問い合わせ先

公益財団法人 小平記念日立教育振興財団 [担当:吉野]

〒100-8220 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号

電話:03-5221-6675 (代表)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
